

# なのはな

NPO法人 なのはな

◇あおぞらキンダーガーデン

◇まほろば

◇わとと・あおぞら

〒420-0961 静岡市葵区北226-1

TEL/FAX 054-246-2213

E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp

npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp

URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

## ..こころの花咲月..

これは、給食室のS先生から聞いた話です。

『ほしぐみのSくんが給食室にやってきて、調理をしているS先生に

Sくん「ふるちゃん（もう1人の給食室の先生）おやすみ？」と聞くので

S先生「今日は、いないんだよ。お休みなんだ。S先生寂しいなー」と応えると

Sくん「さびしくないよ。みんながいるよ」と言われ、励まされたというのです。

宝石のような子どもの輝く言葉は、大人の心を幸せにしてくれますね。

2歳児のSくんがこの言葉をつぶやくには、どんな力が育っているのでしょうか。

- ・ いっぱい泣いたり、怒ったり、ケンカをしても最後は、楽しく笑う生活や遊びを共有したお友だち(みんな) がいること
- ・ Sくんが寂しい時、みんながいて元気になった経験を持っていること です

子どもがつぶやく言葉の裏には、こうした心の育ちがあるのですね。

3月は、花咲月。

子どものつぶやきに耳を傾け「心の花咲」を感じて、たくさん幸せをもらいましょうね。

(おか)

## あおぞらの保育2 ～卒園式・大きくなる会（学年の卒園式）～

あおぞらは、余り行事はありませんが、学年の最後に行われる卒園式と大きくなる会は、大事に取り組んでいます。

幼児は、「大きくなることを楽しみに出来る＝憧れ」が子どもの発達意欲を大きく育てるからです。憧れを意識し始めるのは1日入園を計画する1月から始まります。そして卒園式も大きくなる会も「大きくなった自分」を意識し自信をもつ機会になることを大切に取り組んでいます。

内容は年齢によって違いますが子どもと大人の願いや要望をかね合わせて、創っていきます。ですから卒園式4部に親子ドッチボール、大きくなる会パート2山登り、ホットケーキ作り等・・・ということもあります。

乳児は、いつものあそびや生活に親子で一緒に参加し子どもの日常の関わりの中で、大きくなったところを感じてもらっています。

そして、親は「子育ての喜び」保育者は「保育創造の喜び」を共に共感しあう機会となっています。

# あおぞらだより

あおぞらを卒園し、中学1年生となったお姉さんが、「職業体験学習」という勉強の一環で、あおぞらに来てくれました。

いままでにも、こうした形で、卒園生があおぞらに「保育参加」していくことはありましたが、今回は初めての「調理室のお手伝い」体験をしていってくれました。

昔の面影を残しながらも、しっかりとしたお姉さんへと成長していた彼女。細かいことにも気を使いながら、丁寧にお仕事をしてくれて、終了後は、子どもたちとたっぷりあそんでくれた2日間でしたが、こうして、大きく成長した卒園生と会えるのは、本当にうれしいことです。

また、学校の担任の先生が、園に訪問してくれた際、園で働く彼女の姿を見ていき、「今の彼女があるのは、幼児期、こんな暖かく見守られた環境の中で過ごしていたからなんですね。今日、ここに来てわかりました」と、少々涙ぐんでお話しされて行きました。

彼女は何も言わなかったけれど、思春期を迎え、学校でも彼女の中でも、きっといろんなことが起きているのでしょう…。

そんな中でも、担任の先生は、彼女の本質をしっかりと見抜いてくれているようです。嬉しいですね。中学校の先生が、おっしゃってくださったとおり、あおぞらでは、保育者だけでなく、調理の先生、バスの先生、事務の先生と、たくさんのスタッフが子どもたちを暖かく見守ってくれています。

…

Fさん、Sさん(給食の先生)は、私のことを本当によく見てくださって、たとえ、小さなことでも、ほめてくださいました。私以外の幼稚園児にもそうしていました。給食をつくるのもていねいに教えてくださったり、話しかけてくださったりと、とても楽しく将来に必要なことを体験させていただきました。もっとここにいたい、もっとお手伝いをしたいと思えました。

職場体験で学んだことを生かし、これからは体験させていただき、「気がきく」と言っていただけたので、学校生活の中でも、気がついた事を自分からして、みんなから必要とされる存在になれるようにしたいです。

この3月、18人の子どもたちが、あおぞらを巣立っていきます。悲しい時、つらい時、さみしい時、もちろんうれしいときも、あおぞらのことを思い出して、会いに、あそびに来てくれるといいな。たくさんのあおぞらのスタッフが、みんなのことを応援しています。

(ゆう)

お姉さんからのお手紙  
を一部紹介します。

## まほろばの部屋から

先日、県の発達障害者支援センターが主催する、「自閉症・発達障害支援実践報告会」で、発表者としての参加の機会をいただきました。15分という短い時間でしたが、私たちがどんなことを大切に思って8年間まほろばの活動をしてきたのかをお話ししました。

子どもたちが自分で好きな遊びを探し出し、それをやりきって、次の段階に移っていくことの大切さ、子どもたちが子どもたちの中で繋がった、ほんの小さな出来事…。

私たちにとっては、当然で、どんな子どもたちにとっても共通して大切なことなのですが、現在の“自閉症・発達障害支援の実践”という中に入ると、ちょっと異質に映ったのではないかという思いはあります。

ですが、どの発表でも共通していたのは、「自己肯定感」が大事だということ。そこに向けて、色々な考え方、支援の形があるのだと思います。

まほろばもその一つ。そういった意味では、今回この機会をいただけたことが、小さくて大きな一歩ではないかなと思っています。

<ハル>

## わとと・あおぞら

### 仲間が増えるっていいね

1月より、“助産師さんと話そう”という集まりが始まりました。

初めての日、

「お産って、本当に楽しめるの？」

「産んだら、赤ちゃんに何をすればいいの？」

「どうしたら、赤ちゃんの気持ちかわかるの？」 などなど

楽しみの中に、不安やドキドキをもつ妊婦さんが足を運んでくださいました。

そんな妊婦さんに、

「おなか大きいね、何ヶ月？楽しみだね～」

と、自然にフロアーから声がかかり、助産師さんや先輩ママのお話もある中で、帰りがけに、

「また来ます。産む前に。」という言葉を受けました。

はじめてのあつまりで不安だったスタッフにも、嬉しさのおすそわけです。

これからは、産んだら、いえいえ、産む前にもわととに！待っていますね。

カレンダーには書いてないけれど、3月は  
**10日**の身体測定の日  
に開催します。

(セリ)

NPO法人なのはなのホームページで、この“なのはな通信”が見られるようになりました。1月号から読むことができます。バックナンバーも載せていく予定ですので、ぜひ、ごらんください。

<http://www4.tokai.or.jp/nanohana/news/index.html>



### 「だーれもないだーれもない」 片山健 さく・え 福音館

おひるねから起きたコッコさん「だーれもないだーれもない」

みんなはどこへいったのでしょうか。

風が そーとやってきて「だーれもない だーれもない」

くもがやってきて・・・「だーれもない だーれもない」

この日は、このフレーズのたびにKちゃんが「さびしいねー」とつぶやくので、そこにいた子どもたちは、場面にくぎ付けです。

そして最後、おかあさんが帰ってきて・・・

こっこさんは、ないてないてなきました。

とおかあさんにムギューと抱っこされる場面に子どもたちは「フッー」とほっとした顔でジーと絵本を見ています。そして「もう1回!」の声。子どもたちは、コッコさんの気持ちがすごくよくわかるんですね。 (岡)

## まほろば参加児募集中

### 2010年度より、未就園児(2歳児)のコースを開催します!!

「来年入園なんだけど、大丈夫かなあ・・・。」「なんとなく発達のこと気になるなあ」

「親と離れた経験がなく、不安で・・・。」

そんな、ちょっと“気になる”就園前の子どもたちへの支援を開始します。

- ・親子での活動ではなく、集団(幼稚園・保育園)に入る前の、子どもだけの小さな集団生活です。
- ・保育者(親ではない大人)との関係づくりを丁寧に行います。
- ・着替えをしたり、給食を食べたりと、基本的な生活習慣づくりのお手伝いをしていきます。

曜日	回数	時間	保育料	定員
月曜日	月2回	10:00~13:00	15,000円/月	3名
水曜日	月4回	10:00~13:00	30,000円/月	3名

